

継続的な地域社会への貢献

私たちは人々が求める真の貢献を実現するために、その地域に密着し、交流を深めることで問題を共有し、その解決に努めます。



地域の皆さまとの共生

地域とともに成長するモール

イオンモールはさまざまな形で地域経済の活性化に貢献しています。新しいモールのオープンは地域に数千人単位の安定した雇用を創出し、税収や人口の増加にもつながります。テナントリーシング(専門店の誘致)についても、全体の約3分の1が地域からの出店になるよう配慮しています。また、建設業者を通して多くの仕事が地元企業に発注されるなど、広範囲に間接的な効果を及ぼします。

地域・社会貢献の拠点として

グループの社会貢献活動の一環として各モールが行う募金活動には、例年多くのお客さまからご協力をいただいています。なかでも、学校建設などを通してアセアン各国の子どもたちを支援する活動を推進しています。

また、毎月11日の「幸せの黄色いレシートキャンペーン」*を通じて、お買い上げ金額の1%を地域のボランティア団体などに還元する取り組みも、モールの専門店とも協力して積極的に行っています。

2013年度 募金活動結果

(単位:円)			
障がい者ものづくり 応援募金	2013年 2月23日～ 2013年 3月11日	3,045,854	
東日本大震災復興支援募金	2013年 4月20日～ 2013年 5月12日	1,823,163	
イオン・ユニセフ セーフウォーター キャンペーン募金	2013年 4月6日～ 2013年 6月9日	4,666,125	
アフリカ応援キャンペーン 「レッドカップfor アフリカ」 募金 (神奈川県内モールのみ実施)	2013年 4月1日～ 2013年 5月31日	41,785	
24時間テレビ チャリティー募金	2013年 6月15日～ 2013年 9月1日	56,279,447	
ミャンマー学校建設 支援募金	2013年 9月13日～ 2013年11月17日	6,178,745	
フィリピン台風被害 緊急支援募金	2013年11月13日～ 2013年11月24日	9,238,072	
クリスマスチャリティー募金	2013年11月16日・ 17日・25日～12月 25日	6,389,483	
合計		87,662,674	

※「幸せの黄色いレシートキャンペーン」とは、お客さまがレジ精算時に受け取ったレシートを、地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXへ投函していただき、レシートのお買い上げ金額合計の1%をそれぞれの団体に還元する取り組み

地域の美しい環境を未来へ

1991年から行っている「グリーン&グリーン」活動の一貫として、毎月イオン・デーには、専門店従業員の皆さまとともに、モール周辺の歩道や公園、植樹帯などの清掃活動を行っています。イオンモール幕張新都心では、新店がオープンする前から、地元の方々と協働して活動を行いました。

公的サービスの提供

イオンモールは地域の皆さまに高い利便性を提供するために、銀行、郵便局、医療機関、自治体の行政サービスコーナーなど、公共性の高いサービスも導入しています。また、モール内に設けられた多目的ホール(イオンホール)を、成人式や確定申告の会場、選挙の投票所、運転免許更新の講習会などにもご活用いただいています。

宮城県東松島市「おのくん」制作応援プロジェクト

2011年に起こった東日本大震災。その被災地は3年経った今でも復興に向けて地道な努力を行っています。イオングループでは「心をつなぐプロジェクト」として、復興植樹参加や交流の場としてイオンホールを提供するなどお手伝いしてきました。2014年度からはイオンモール心をつなぐプロジェクト活動として、宮城県東松島市の「おのくん」制作の応援を開始しました。

おのくんとは？

おのくんとは、東松島市小野駅前応急仮設住宅に暮らしている皆さんが支援でいただいた靴下でソックモンキーを作り始めたのがきっかけでできた、おのくんというキャラクターソックモンキーです。仮設住宅のお母さんたちが「みんなが明るく元気で暮らせよう」という願いを込めて、一針ずつ手縫いで制作されています。1体1,000円で販売されていますが、購入者には里親さんになっていただくという考え方で、またおのくんをつれて東松島に帰ってきてほしいという想いと人との絆が大切にされて、おのくんの輪は次第に広がっています。

おのくん制作支援

東松島市という被災地から、元気を届けたいというお母さんたちの気持ちをイオンモールでは応援しています。全国のイオンモール(一部除く)に靴下や綿(おのくんのえさ)の回収ボックスを設置し、お客さまにもご協力を呼びかけしています。お客さま、従業員の協力により、2014年4月20日に小野市民センターで開催された初めての「めんどくしえ祭(おのくんの誕生日)」にて3,342足の靴下と416個の綿を贈呈しました。今後もおのくん制作応援活動を多方面から継続していきます。



おのくんの材料回収の呼びかけ



おのくん制作のための回収ボックス



「めんどくしえ祭」での贈呈の様子

継続的な地域社会への貢献

各地での地域貢献事例

イオンモールは、それぞれの地域の祭事などの伝統行事や市民の文化活動を尊重し、商業施設の枠を超えてサポートを提供します。また、海外でも一般財団法人イオンワンパーセントクラブ、公益財団法人イオン環境財団を中心としてさまざまな地域貢献に取り組んでいます。

イオンモール秋田

1

秋田竿燈まつり、秋田おばこ踊りへの参加

毎年8月に開催される「秋田竿燈まつり」「秋田おばこ踊りフェスティバル」に参加しています。竿燈では、地域の竿燈会のご協力の元、イオングループとして3本の竿燈をだし、華麗な演技を披露しました。おばこ踊りも一般参加の方々とともに参加し、地域との連携や信頼関係の醸成に努めています。



イオンモール高岡

2

北陸新幹線開業PRコーナーがオープン

2015年春の北陸新幹線開業を前に、北陸新幹線の最新情報から観光情報までを発信する北陸新幹線開業PRコーナーを13年10月に設置しました。当日はご当地キャラクターの利長くんが高岡昆布スイーツの販売を行うオープンイベント、翌月にはご当地アイドル・ビエノロッシライブ&ご当地ゆるキャラ大行進を行いました。このほか、富山大学高岡キャンパスと協力し、学園祭のための工作イベント(描いた絵をビニール傘にコーティング)「わくワーク、かさアート」や、14年4月には東二塚獅子舞保存会による「春祭り 東二塚獅子舞の演舞」をモール内で開催しました。



イオンモール高崎

3

イオンモール高崎だるま市

「高崎だるま」は、全国一のだるま生産量を誇り、群馬県で最初の地域ブランドに認定されました。この高崎だるまを、威勢のよいかけ声とともに販売する「イオンモール高崎だるま市」の8回目を1月に行いました。高崎市のゆるキャラ・たか丸くんの出演で売り場は大いに盛り上がり、開運だるまくじや古だるまお預かりコーナーも好評を博しました。イオンモール高崎限定の名入れの即時対応は、今年も多くのお客さまにご依頼いただきました。



イオンモール春日部

4

大風あげ祭り

毎年5月に江戸川の河川敷で開催される「大風あげ祭り」。江戸時代後期から続いている祭りで、大風文化保存会の会員が和紙と竹で3ヵ月もかけて作った大風を百数十人であげ、約10万人の見物客がその勇壮さを楽しみます。2013年、イオンモール春日部は大風文化保存会の会員にオリジナル大風を製作していただき、初参加しました。この大風は現在、モール内の「風の広場」に展示しています。



イオンモール成田

5

成田祇園祭

300年の歴史を持つ「成田祇園祭」。毎年、約45万人の見物客が訪れる成田の一大イベントで、威勢のよいかけ声に合わせて、大きな山車が市内を練り歩きます。イオンモール成田では、立ち寄ってくださったお客さまに「振る舞い」を行いました。大勢のお客さまが足を止め、祭りを大いに盛り上げました。



イオンモール東員

6

東員町こども歌舞伎

「東員町こども歌舞伎公演」は、七世松本幸四郎丈を顕彰するとともに、伝統文化の振興と子どもたちの豊かな感性を育むことを目的として、毎年開催されています。東員町をはじめとする近隣の園児・児童・生徒・学生(男女問わず)が、歌舞伎指導者より初歩から演技の指導を受け、稽古を重ねた成果を披露するものです。6月に行われた第19回公演では、『仮名手本忠臣蔵』『三段目』と、『義経千本桜』『すし屋』を上演しました。イオンモール東員では、モール内の「カブキコート」で「寿式三番叟」を公演するなど、全国に歌舞伎のまち「とういん」を発信しています。



イオンモール伊丹

7

いたみ花火大会

イオンモール伊丹沿いを流れる猪名川の河川敷で開催される「いたみ花火大会」は、毎年恒例の夏の風物詩になっています。大会当日は、大勢がお客さま駐車場から花火を楽しみ、イオンモール伊丹の来店者数は年間最大になります(2012年は10万人以上。13年は雨天中止)。



イオンモール福津

8

ママと赤ちゃんのためのプログラム

イオンモール福津では、初めてのママと赤ちゃん(4~8ヵ月の第一子)のためのプログラム「あんだんて」を実施。ベビーマッサージとあやした、交流会を組み合わせた全6回のゆったりとしたプログラムで、離乳食やお風呂の入れ方、寝かしつけ方など、ママたちが知りたいことを楽しく学び、交流できるようにサポートしました。このほか、「子育て講座」も行っています。「1歳児とママのためのプログラム「こもど」」では、子どもの食事やしつけ、かかわり方などの情報を気楽に話し、学びました。生後1ヵ月~未就学児の保護者が対象の「子どもの離乳食や食事と子育て」では、赤ちゃんや子どもがおいしく食べてくれる工夫やコツと一緒に学び合いました。



ベトナム

9

第1回ベトナムハノイ植樹

2014年3月22日、公益財団法人イオン環境財団は、ベトナム社会主義共和国(以下ベトナム)ハノイ近郊のパ・ヴィ国立公園において「ベトナムハノイ植樹」を開催しました。日本とベトナムのボランティア560人の方々と地域に自生する木々2,500本を植えました。イオングループでは、2010年から2012年まで、ベトナムのフエ省で合計7万本の植樹活動を行ってきました。

「ベトナムハノイ植樹」は同国において2カ所目の植樹活動となります。イオングループでは、生物多様性の保全のため、これからも国内外で皆さまとともに木を植えてまいります。



ミャンマー

10

ミャンマーで小学校開校式を開催

2014年3月28日、29日、ミャンマー連邦共和国(以下ミャンマー)ヤンゴン市においてイオンワンパーセントクラブ「学校建設支援事業」で建設した同国内で11校目の小学校となる「イオンマホガニースクール」の開校式を開催しました。ミャンマーでは、学校の不足や老朽化、教員の不足などにより教育環境が整っていない地域が多くあり、イオングループでは3年間で30校の小学校建設や教員育成を目標に取り組んでいます。

開校式には「学校建設支援事業」にご賛同いただいている声楽家の由紀さおり様、安田祥子様、元体操選手の鹿島丈博様、水鳥寿思様、元新体操選手の田中琴乃様にもご参加いただきました。



カンボジア王国

11

カンボジアでの植樹

2014年3月、カンボジア王国・イオンモールプノンペン敷地内においてプノンペン市長、駐カンボジア日本大使にもご出席いただき、「イオンふるさとの森づくり」植樹祭を開催しました。当日は地域の皆さま約1,500名にご参加いただき、チョティル、コーキ、ニンルーンなど地域に自生する樹木を中心とした苗木を含む21種、約10,000本を植樹しました。

「イオンふるさとの森づくり」植樹祭は、ショッピングモールが緑に包まれ地域社会にとけ込んだ場所になること、さらに緑を育むところが世界へと広がっていくことを願い、新設するモールの敷地内にその地域に自生する「ふるさとの木」の苗木を、地域のお客さまとともに植えて、大切に育ていく活動です。

